

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 8 No 03

80号

平成12年 3月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

お陰様で7周年

外来で気付いたこと 8

院長

久しぶりに、外来で気付いたことを書いてみます。

発熱と咳で受診して38以上もあるのに、「お風呂に入れていいですか」と聞かれることがあります。こんな時、なぜ聞かれるのか不思議に思います。日本の従来の習慣では、熱がある時はお風呂を控えるというのは常識です。これは子供の時から親に言われているので、誰でも知っていることでしょう。しかし風呂に入れていいのかと聞くということは、今まで教えられてこなかったのでしょうか。そんなことはないと思います。このようなことはいつの時代でも大切なことで、これからもずっと伝えていくことなのだと思います。ではなぜ聞くのでしょうか。おそらく病気に対する対応と、風呂に入ることの大切さを計りにかけることができないのかもしれないかもしれません。病気で風呂に入れないことも、清潔を保つために風呂に入れることも大切です。普通はどちらを優先すべきかは、わかっているはずですが。このように実際の生活の重要性に優先順位をつけることが、今の若い人には苦手かもしれません。同じようなことは、他の場合にも感じられます。下痢がひどいと受診しながら、牛乳を飲ませているのも同じことなのです。こんな時「お母さんは下痢の時、牛乳を飲みますか」と聞くと、ほとんどの人は飲まないと答えます。また同じ疑問ですが、ではなぜ子どもには飲ませるのでしょう。これも計りにかけるが苦手ということで、いいのでしょうか。

しかしもう一つ関係していることがあると思います。どうしてという問いの答えに、「子どもが風呂に入りたがるから」、「牛乳を飲みたがるから」と言うお母さんもいます。確かに子どもは病気という意識が薄ければ、風呂にも入りたがるし牛乳を飲みたがるのも仕方ありません。年齢も関係しますが、病気を理解させることも難しい場合もあ

ります。しかし病気の時やしつけの場合には、子どものわがままを通さないことが大切なことなのです。

もちろん他にも大切なことがあります。それは親が常識を身に付けるということです。

以前にインターネットの医療相談に、「はじめまして。一般に市販されている60度保温のポットのお湯でミルクを作り、そのまま飲ませていますが、熱すぎるでしょうか。一月末に生まれて以来二カ月間その状態で飲ませています。今更ですが、大丈夫でしょうか。本人は特に機嫌が悪くなることもなく、一カ月検診でも順調に育っていると言われました。よろしく願います。」がありました。この相談の場合にもどうしてと言う疑問が、最初に沸き上がってきたことはいうまでもありません。誰でもミルクを作れば、飲み頃の温度まで冷やすというのが常識です。この常識が、なぜわからないのでしょうか。今マニュアル人間という言葉があり、マニュアル通りというのがいけない風潮です。しかし、これは常識的な考えができる人たちには当てはまることだと思います。何から何までマニュアルどおりにやらなければならないということはありません。やはりわからなければ、マニュアルを読むことも必要だと思います。最低限の部分はマニュアルを読んで欲しいと思います。それを自分で理解し、また判断して、初めて自分のやり方が見つけられるのです。

これを読んでもお母さんたちは、皆さん常識人でしょう。でも思い当たる人は、この記事を読んで、何が大切かということを考えてみましょう。



3月のお知らせ

・栄養育児相談

毎週水曜日

13:30~14:30

参加費無料 栄養士担当



新しい看護スタッフが入りました

従来のスタッフ同様、よろしくお願い申し上げます。

今年の2月からお世話になることになりました、**茂木**と申します。まだまだ慣れないことばかりで、お母さん方からいろいろ教えて頂きたいと思います。笑顔と元気を忘れず頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。
茂木玲子

読者の広場

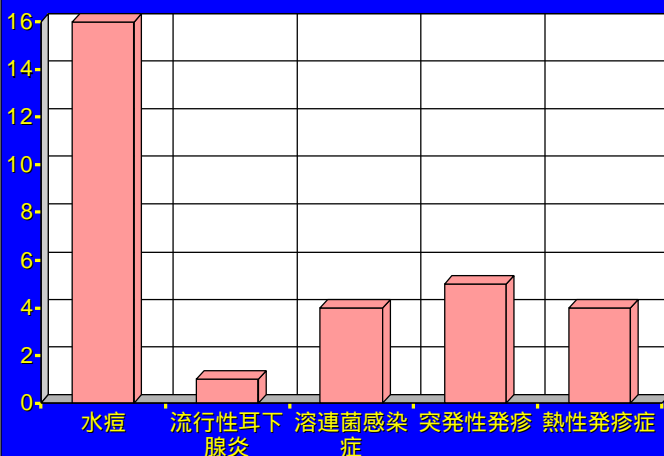
今月も電子メールによる投書(?)を紹介しします。初めてのメールを頂く、なんともいいことです。「こんばんは。淳平の母です。最近、メールを始めたので早速念願のメールを、お忙しい時期とは思いつつ、出しました。はじめて、川村先生にお会いしたのは、淳平が10ヶ月の頃でした。咳が1ヶ月も続き、仙台出身ではない私は病院もよく分からず、主人が・・・勤務ということもあり、・・・病院に遠いながらも通ってました。その先生もとても優しく良かったのですが、診察が2～3分で説明をあまりされず、経過も良くなく、何となくここでいいのかと思っていたところに近所の方に勧められ、先生のところに変えてみました。先生は十分に説明をして下さって本当に安心しています。喘息ぎみと熱性痙攣と蕁麻疹と、私には本当に心配なことをたくさん経験させられましたが先生の治療と励まして、強い母親に育ってきています。今までのお礼をこの場でさせていただきます。本当にありがとうございます。淳平の1ヶ月続いた蕁麻疹も、2/22からお薬は飲んでませんが、でてこないのようやく落ち着いたのかなと思っております。先生が「蕁麻疹も原因不明でお薬を飲んでおさまっているのだったら花粉症みたいなものだと思っておけばいい」とおっしゃって下さったのが、本当に救われました。神経質になっている私にとって、先生の説明は充分過ぎるほど安心です。なるべく、先生にお会いすることがないことを願っているのですが・・・。(でも、ファンです)淳平も病院が大好きで、「ちえんちえい、行く～」と言っております。お体にお気をつけて、お仕事頑張ってください。今後とも、よろしく願い致します。」ファンとの告白、勇気が必要だったでしょう。どうです、ファンクラブでも結成してみませんか(冗談ですが、エヘヘ)。「先生 お元気ですか? 野 浩大と和浩の母です。今年目標だった『パソコンを購入してEメールに挑戦する』が達成できました。もちろん先生に書くメールが初めてです!!さきほどホームページも拝見しました。132198番目の訪問者になることができました。1月7日に、和浩の三種混合をお願いしました。その時は、まだわからなかったのですが、その2日後に、主人が転職になり、1月15日に引越しをしました。1週間で引越しの準備をすることになり、忙しかったため、ご挨拶に伺えなかったのが残念でした。先生には、本当にお世話になりました。看護婦さん達にも、よろしくお伝えいただければ幸いです。ありがとうございました。現在は、岩手県北上市に住んでいます。こちらに引っ越してきてすぐに、浩大が風邪をひき、その後、和浩もひいて、二人で通院する日が続きました。今は、二人とも元気になり、小さな怪獣になっています。転職族なので、また仙台に戻ることもあるかもしれません。その時には、よろしく願いします。これからは、メールでのお付き合いをよろしく願いします。」(両メールともプライバシーを考慮して、一部変更してあります。)

感謝のメール、本当に有難うございます。また転居後も思い出していただいて、こちらもありがたく思っています。こんなお母さんたちに、当院は支えられているのです。メール遠慮なく、どうぞ。メールでのおつき合い大歓迎です。しかし最近では院内の投書が、めっきり減っている印象です。こちらの方も遠慮なく、御意見・御要望、何でも気軽にどうぞ。それからもう一つ、[青葉区の黒沢さん](#)から、ぬいぐるみをいただきました。有難うございました。

本年度最後の「[お母さんクラブ](#)」を、[3月23日\(木\) 福沢市民センター](#)で開催します。1年の締めくくりなので、[医学的な基礎的な話と、反省会](#)の予定です。奮ってご参加、お願いいたします。



2月の感染症の集計



水痘自体の数は、例年と比べるとまだまだ多いのですが、先月までと比べると、半減しています。他に増加している疾患はありません。インフルエンザも減少傾向で、下旬にかなり少なくなってきましたが、100名程度見られました。感染性胃腸炎も減少傾向で、70人程度見られています。

ポリオ予防接種のお知らせ

4月中旬にポリオの予防接種があります。対象者は次の通りです。予定を立てておきましょう。詳しい日程表は、対象者には配付しています。(来月号に載せます)

- 第1回 平成11年7月1日～12月31日生れの児
- 第2回 平成11年10月に1回目の投与を受けた児
- その他 投与を延期していた90ヶ月までの児

院長は、[4月19日\(水\) 青葉区保健福祉センターが、接種担当](#)です。都合のつく方は、当日おいで下さい。他の区や住所でも、当日予防接種が受けられます。会場で待っています。

編集後記

お陰様で開業7周年を迎えることができました。長いような短いような。ラッキー7。今年は何か、いいことがあるのでしょうか。何となく区切りが近い年数です、何か新しいことを企画しています。

